

第五十六回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速)第十六回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
地方鐵道法中改正法律案(政府提出)
軌道法中改正法律案(政府提出)
非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)
鐵道營業法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和四年三月七日(木曜日)午前十時五十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 若宮 貞夫君

理事 熊谷 巖君

理事 田中千代松君

岡田 忠彦君 上條 信君

横山金太郎君 木槍三四郎君

神部 爲藏君 工藤 鐵男君

岡本實太郎君 清水徳太郎君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道參與官 志賀和多利君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

鐵道書記官 喜安健次郎君

鐵道書記官 細野 躋君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方鐵道法中改正法律案(政府提出)

軌道法中改正法律案(政府提出)

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)

提出)

○若宮委員長 開會致シマス、工藤君

ノ質疑ハ昨日中斷致シテ居リマスカ

ラ、其御繼續ヲ願ヒマス

○工藤委員 昨ハ昨日ノ質問ニ引續イ

テ、政策論ニ關スル事ヲ少シ伺ヒタイ

ト思ッテ居リマスルガ、參與官モ御見エ

ニナッテ居リマスカラ、御答ヲ頂戴スル

ニ無論十分ダトハ思ヒマスケレドモ、

此逐條ノナ條文ノ疑惑ニ付テ御伺ヲ致

シマス、無論是ハ政府委員全體トシテ

ノ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマス、此説

明書ノ中ニ工事中ノ線路ノ買収ノ途ヲ

開クト云フコトデアリマスルガ、是ハ

現行法ニ無論ナイノデアッテ、新シイ規

定ノヤウニ存ジマス、此工事中ノ線路

ノ買収ノ途ヲ開クト云フコトハ、過去

ニ於テハ實際ニ於テドレダケノ不便ノ

事情ガアツタカ、即チ之ヲ新ニ設ケナケ

レバナラス所ノ理由ヲ御同致シマス

○志賀政府委員 此事務ニ關スルコト

ハ、監督局長ハ今貴族院ニ出席シテ、居

リマセヌカラ、監督局ノ法規課長喜安

君ヲシテ御説明申上ゲマスカラ御許ヲ

願ヒマス

○若宮委員長 御差支アリマセヌカ

○工藤委員 宜シウゴザイマス

○若宮委員長 喜安君

○喜安鐵道書記官 工事中ノ地方鐵道

ノ買収ノコトデアリマスルガ、只今ノ御

質問ハ實際過去ニ於テ何カ困ッタクナ

コトガアルカト云フコトノヤウニ伺ヒ

マシタガ、過去ニ於テ實際問題ニブツカ

リマシテ困リマシタ實例ハゴザイマス、

何年デゴザイマシタカハッキリ覺エマセ

ヌガ、鹿兒島縣下ニ於キマシテ川内町

ノ方カラ出マシテ川内何間ト云フ鐵道

デゴザイマスルガ、其線路ニ互リマシ

テ川宮鐵道ト云フ地方鐵道ヲ工事シテ

居リマシタ、其時ニ土工ガ三四分位迄

出來上ッタ時ニ、其線ヲ鐵道省デ豫算ニ

計上致シマシテ、其工事中ノモノヲ現

金デ買ヒマシテ、ソレヲ本ニシマシテ

工事ヲ進メテ行ッタクヤウナ事情ガゴザ

イマス、若シ其場合ニモ地方鐵道法ニ

強制買収ノ途ガアリマスレバ、現金ヲ

出サナイデモ公債デ買ヘタ譯デゴザイ

マスルガ、サウ云フヤウナ困ッタ實例モ

アルノデアリマス

○工藤委員 實際上ノ必要カラ法規ノ

不備ヲ補フ爲ニ出來タ規定ト致シマシ

テ、是ハ兩方カラ此規定ヲ私共ガ見ル

コトガ出來ルダラウト思ヒマスルガ、

只今ノ喜安サンノ方ハ鐵道ヲ買収シ

テ、ソレニ伴フ必要上此處ニ至ッテ之ヲ

バ強制買収スル、工事中ノ線路ト雖モ

強制買収スルヤウナ途ヲ開イタ方ガ

便利デアルト云フ、是ハ實務上ノコト

ニ付テハサウデアラウト思ヒマスガ、

今度ハ少シ政治的ノ方ニ互リマスル

ガ、此工事中ノ線路ヲ買収スルコトニ

依テ若シ茲ニ企業家ガ實際儲カラヌ線

デアルケレドモ免許ヲ得タノデアルカ

ラ工事ヲ起ス、而モ其工事ハ實際運轉

シテハ利益デナクトモ、幾ラカ投機的

ノ意味デヤルヤウナ場合ハ起リヤシナ

イカ、若シソレガサウ云フヤウナコト

ガ萬々一ニモアルト云フコトデア

ト、此私設鐵道ニ免許ヲ與ヘテ、サウシ

テ實際ニ運轉セシムベク、政府ガ之ヲ

監督獎勵シテ居リナガラ、投機的ナ方

面ニ此規定ガ利用セラル、ト云フコト

ハ、情弊ガ百出スルノ虞ガアリマスル

カラシテ、何レ實際上ノ問題トシテハ

ソレノ場合ガアリマセウケレド

モ、此點ニ關シテ政府ハ何カサウ云フヤ

ウナ情弊ヲ防止スルダケノ御見込ガ立

ツテ居リマセウカ、ソレヲ一ツ多少政

治ニ關係シマスカラ政務官カラ……

○志賀政府委員 工事中ノ線路若クハ

此買収ノ日迄ニマダ開業致シマセヌ線

路ニ付テノ買収ハ、矢張建設費ヲ時價

ニ依テ公債券面額ニ換算シタル金額、

即チ時價デ公債ヲ換算シテ、其金額以

内ニ於テ協定シテ、定メルコトニナッテ

居リマス、隨テ嚴密ナル檢査ヲ致シマ

シテ、其工事ノ建設ニドレダケ費用ガ

掛ッタカ、實際ノ費用ガ掛ッタ數額以上

ニハ無論買収スルコトガ出來ナイ規定

ニナッテ居リマス、左様ナコトデアリマ

スカラ、只今御話ノヤウナ投機的ニ工

事ヲ徒ニ進メマシタ所ガ、實際ニ於テ利益ニナラヌト云フ結果ニナリマスカラ、左様ナ事ハ出來ナイコトニナリマス

○工藤委員 次ハ此清水君カラモ質問ガアリマシタガ、買收鐵道ノ營業ノ狀況ニ基イテ命令ニ依テ買收價格ヲ百分ノ五増加スルコトガ出來ルト云フ規定ヲ設ケタ理由デアリマス、是ハ今言フタノト矢張同ジヤウナ意味ニナリマシタガ、國家ガ私有鐵道ヲ獎勵保護スル上カラ行キマスルト、實際其營業ノ狀況ト云フコトヲ見ルコトモ必要デアリマセウガ、隨テ之ヲ増加シテヤルト云フコトモ、亦其意味カラ將來シマスケレドモ、數多ノ鐵道ノ中ニハ必シモ増加スル必要ノナイモノガアルカモ知レナイ、増加ヨリハ寧ロ減額スル必要ガアリハシナイカト思フモノガアルカ知レマセヌ、例ヘバ長イ間鐵道會社ニ於テ此暖簾代ヲ欲シイトカ、是ハ暖簾ノ問題デスケレドモ、サウ云フヤウナモノデアツテ、將來ニ於テ此事業ハ果シテ旨ク行クカドウカト云フコトニ付テ、能ク行クモノデアルトスレバ、又實際ニ於テ此營業ノ仕振リニ依テハ増スコトモ出來マシテモ、或ハ減額スルト云フ方モ考ヘテ置ク必要ガアリハシナイカ、是ハ私ハ成ルベク國家ニ多ク負擔ヲ掛ケナイ意味ニ於テ左様ナルコトハ考ヘラレルノデアアルケレドモ、是ハ唯増加スル一方デアリマスルカラ、サウ

云フ點ニ付テ何カ御考ニナツテ居リマス

○志賀政府委員 買收ノ價格ハ此法律ノ規定ニ依テ定メテ居ルノデアリマスカラ、特ニ減額シナケレバナラヌト云フコトハ考ヘテ居ラヌ、唯事情如何ニモ其會社ノ營業自體ガ堅實デアツテ、サウシテ線路自體モ宜シイ、是ガ強制買收ニナツタガ爲ニ、單ニ益金ノ二十倍ノ割合デ買收セラレテハ、如何ニモ氣ノ毒ナ事情ノモノモ中ニハアル、斯ウ云フ從來ノ例ヲ考慮致シマシテ、此場合ニ於テハ百分ノ五以內ニ於テ多少ノ割増ヲシテヤルトコトガ公平デアラウト云フ、此立場ニ於テ此規定ヲ設ケントスルノデアリマス、減額ノ點ニ於テハ別ニ考慮シテ居ラヌノデアリマス

○工藤委員 買收規程ニ依テ略ボ其基礎ハ定マツテ居リマスケレドモ、既ニ命令ノ規定ニ基イテ之ヲ増スコトガ出來ルト云フコトデアリマスルト、此命令ノ中ニ規定スル狀況ニ關スル、詰リ項目、其中ニ減額スル場合モアリ得ルト云フコトヲ、私共ハ常識的ニ判斷シテ宜カラウト思ヒマスケレドモ、サウスルト此三十二條ノ「前項ノ規定ニ依リテ金額ヲ加算スヘキ場合及其ノ割合ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」此命令ヲ以テ定ムト云フ條項ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ、其方法ハ項目ヲ擧ゲテ見マスト——是ハ事務上ノコトデアリマ

スカラ、ドナタデモ宜シウゴザイマス

○喜安鐵道書記官 只今志賀參與官カラ御答申シマシタ通りデアアルデアリマスガ、唯ソレニ付キマシテ一寸一口補充シテ置キタイト思ヒマスノハ、營業ノ狀況ニ依リマシテ減額スルヤウナモノモアリヤシナイカト云フ御質問デゴザイマシタヤウデスガ、ソレハアリ得ルコトト思フノデアリマス、例ヘテ見マスルト非常ニ缺損ヲシテ居ルヤウナモノハ却テ買ツテ貰ツテ——建設費ヨリモ安く買ツテ貰ツテモ、自分デ持ツテ居ツテ損ヲ年々背負込ムヨリ得ダト云フモノガ有リ得ルト思フノデアリマスルガ、是ハ強制買收ノ性質トシマシテ法律ノ上デ減額スルト云フコトハ書イテアリマセヌ、唯御承知ノ如ク、從來モ同ジデアリマスガ、サウ云フヤウナモノハ、詰リ鐵道業者ト政府トガ協定シタル金額ヲ以テ買收價格トスルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスルカラ、理論上カラ申シマスレバ建設費以內デ協定ガ纏マリマスレバソレデ買收價格ハ決マル、自然ソレニ依テ減額サレタノト同ジ結果ニナリ得ル場合ガ理論上有リ得ルト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツノ命令ヲ以テ定メルト云フ、命令ノ內容ニ付テ何カ腹案ガアルカト云フ御話デゴザイマスルガ、是ハマダ省トシマシテモ大臣ノ決裁ヲ經タモノデハアリマセズ、更ニ又大藏省トモ協議ヲシテ

決メナケレバナラヌモノデアリマスルガ、大體ニ於キマシテ將來其鐵道ガ延ビテ行ク、其鐵道ノ利益率ガ増進スル見込ガ相當アル場合ニハ其利益ノ程度ニ依リマシテ、其見込ノ程度ニ依リマシテ、或ル程度ノ加算ヲスルト云フコト、ソレカラモウ一ツハ過去ニ於ケル——過去ト云ヒマシテモ過去三年間位ニナルト思ヒマスルガ、過去ニ於ケル利益率ノ割合デアリマス、詰リ非常ニ利益率ノ多イモノ、割合ニ少ナイモノ、サウ云フヤウナコト、其二ツノ點ヲ考慮シマシテ、五分以內ニ於テ加算ノ率ヲ決メタラドウカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○工藤委員 モウ少シハッキリシタ腹案ガアルデセウ、唯ソレダケデハ如何ニモ——茲ニ法律ガ命令ニ委任ヲシテ居ル、隨テハ多少——多少ドコロデヤナイ、國家トシテモ個人トシテモ相當ナ利害關係ノアル規定ガアリマスカラ、モウ少シ省議ハドウデモ、別段責任ヲ持タセル譯デハナイ、吾々ガ唯參考ニ同フノデスカラ、モウ少シ具體的ニ斯ウ云フ場合、ア、云フ場合、斯ウ云フコトヲ規定スル、ア、云フコトヲ規定スルト云フヤウナコトハ、有リ得ルコト、思フノデス、序ニ伺ツテ置キマスガ此點今ノヤウナ御話ニ依ルト云フト、即チ強制買收ニ對スル報償金トモ云フベキ所謂暖簾代ト云フヤウナモノヲ含ムノガ通例デアアル、其慣例モ起ツテ來マ

ス、折角營業ヲヤツテ居ル其營業權ヲ買收スルノデスカラ、暖簾代ヲモ含シテ來ルガ、サウデナク、暖簾代ト云フヤウナモノデナク實際ニ於テノ、又其他ノ事由ニ基イテ之ヲ買收スルト云フモノカ、モウ少シ何モサウ吾々野黨ダカラト云ツテ、アナタ方ヲ虐メルノデヤナイカラ、ハッキリ御答辯爲サツテ置イタ方が却テ宜イデセウ

○志賀政府委員 只今工藤君ノ御尋ノ點ニ付テハ、大體鐵道省トシテハ腹案モ持ツテ居ルノデアリマスガ、此場合ニ於テハ餘リ公ニ致シマスコトハ少シ都合上、總テノ關係ヲ考慮ヲ致シマシテ宜シクナイト思ヒマスカラ、其點ダケハ別ノ機會ニ於テ申上ゲルコトニ致シタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○工藤委員 ソコデ昨日モ清水君モ問題ニシタヤウデスカ、命令ト云フト、廣イ言葉ニナリマスケレドモ、是ハ省令デ御出シニナルヤウナコトニ伺ヒマシタガ、是ハドウデスカ、何カ一ツ立法的ニ斯ウ云フ場合ト云フヤウナモノヲ舉ゲテヤツタ方ガ行政官モ却テ仕事ヲ仕宜イノデハナイデセウカ、モウ既ニ法規ノ上ニ此買收ノ標準ヲ決メテ置クヤウナ工合ニナツテ居ルノデスカラシテ、唯單純ナ、斯ウ云フ漠然トシタモノデナク、モウ少シ法律ノ上ニ根據ヲ置クト云フコトガ必要デヤナイカ、又省令ヨリカ、勅令ノ方ガ更ニ一層嚴肅ナ意

味ヲ持チ、又立法上モ自ラ省令ナド、違ツテ相當喧シク出來ルコトデアリマサルカラシテ、先ヅ第一ニハ法律ノ上ニモウ少シ標準ダケヲ示ス、ソレガ出來ナカッタナラバ勅令ニ之ヲ委任スルト云フヤウナコトニ付テハ、恐ラクハ法制局邊リデハソソナ意見デモアッタノデハナイデスカ、如何デスカ

○志賀政府委員 實ハ是ハ命令ト書イテアリマスガ、監督局ノ起案ノ趣意ハ昨日申上ゲマシタ通りニ、省令デヤル積リデアッタノデ、其御答ヲ致シタノデアリマス、段々色々詮議致シテ見マシテ、或ハ勅令ニシヤウカ、又ハ省令デヤラウカ獨リ鐵道省ダケデ決定ガ出來ナイ、即チ大藏省邊リトモ能ク交渉ヲ遂ゲマシテ其割合等ヲ決メナケレバナラヌノデアリマスカラ、或ハ勅令ニスル方ガ穩當デハナイカト云フヤウナ意見モアルノデアリマス、隨ヒマシテ實ハ省令デ決メルト云フ程確定シテ居リマスレバ、鐵道大臣之ヲ定ムト規定致スベキ筈ナノデアリマスケレドモ、省令ニスルカ勅令ニスルカト云フコトガ、實ハマダ全ク省議トシテハ確定シテ居リマセヌ、御趣意ニ從ヒマシテ十分ナル調査研究ヲ遂ゲマシテ、成ベク公正ニ此法律ノ趣意ヲ施行セラレルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ或ハ勅令ヲ以テ行キマスルコトニ相成リマスルカ、又餘リ煩瑣ナルガ爲ニ省令デ決メタ方ガ宜イト云フコトニナ

リマスカ、實ハマダ未定ナノデアリマスガ、御趣意ノ點ハ尙ホ能ク考慮致スコトニ致シマス

○工藤委員 志賀政府委員ノ御答辯デアリマスガ、今伺ッタ處デハ極ク簡單ナモノデアリマスカラ、餘リ煩瑣ニ流レナイダラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラシテ此點ハ國ノ權利義務ニモ關シ、或ハ個人ノ營業權ノ利害得失ニモ關スルコトデアリマスカラ、寧ロ立法手段トシテハ勅令ニ依ル方ガ私ハ至當デアラウト考ヘテ居リマスカラ、其點ハソレ位ノ御意思ガアルナラバ、最善ノ途トシテハ寧ロ勅令ニ委任スルト云フ方ヲ御採リニナツタ方ガ宜カラウト云フコトヲ私共考ヘテ居リマス、ソレカラ此命令ニ依テ定メマシテ、只今事務ノ方ノ點カラ伺ヒマシタ事柄ハ是ハ斯ウ云フコトガ起リハシナイカ、之ヲ又心配シテ居ル、若シ省令ニ依テサウ云フヤウナ標準ヲ假ニ發表スルト云フコトニナルト云フト、此私設鐵道ノ濫設濫許ト云フコトガ起リハシナイカ、今ノ内閣モ可ナリ非難ガアリマスケレドモ、鐵道ト云フト必ズ利權問題ガ伴ウノデアアルガ唯暖簾代ト云フコトデ略標準ヲ決メテ居ルカラ宜イノデアリマスケレドモ、兎ニ角此所ヲ見込シテ必シモ鐵道ヲ完成シテ斯ウスルト云フ國家ニ貢獻シヤウト云フ意味デナクヤルヤウナモノモ今日デハ澤山アルヤウニ思ハレル、デ現内閣ハ昭和二年四

月ニ出來テ以來、殆ド一千二百哩デシタカ地方鐵道ヲ許シテ居ル、其中ニハ近郊鐵道、大都會ノ周圍ヲ運轉スル鐵道モアリマスガ、サウ云フモノガ或ハ哩ガ多イカモ知ラナイケレドモ、山間ノ地方的鐵道トシテ考ヘラレルヤウナモノモ可ナリアルノデアリマス、權利ハ取ツテ居ルガ一向仕事ヲシナイト云フヤウナコトニナツテ居ル、併シ今度此規定ガ出來タナラバ、ドウセ是ダケノ金ヲ政府カラ分ケテ貰フ方ガ宜イカラト云フノデ、不純ナル考デ此私有鐵道ヲ出願シ許可ヲ受ケ、而シテ様々ナ鐵道許可ヲ受ケタ結果、弊害ガ起リハシナイカト云フコトヲ私ハ心配シテ居リマスガ、此點ニ付テ政府當局ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマセウカ

○志賀政府委員 御尋ノヤウナコトハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、ト申シマスノハ先程申シタル通り、工事中ノ線路ニ於テモ故ラニ山カン仕事ヲヤツテソレガ買收ヲサレテ儲ケヤウトシテモ儲ケルコトハ出來ナイ、殊ニ況ヤ此三十二條ノ規定ハ只今モ申述ベマシタル通り、營業成績前三箇年優秀ナモノニ付テ之ヲ強制買收スル、場合ニ於テハ、如何ニモ何トカシテヤラナケレバナナルマイト云フコトノ爲ニ、此規定ヲ置クノデアリマシテ、左様ニ故ラニ鐵道ノ免許ヲ願ヒマシテ工事ヲ致シ、サウシテ其爲ニ左様ナル利益ヲ擧ゲラレルト云フコトハ想像ガ出來ナ

イ、更ニ又將來ニ於テ利益率ガ遞増シテ來ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、其會社ハ寧ロ買收サレザルコトヲ欲スル會社デゴザイマスノデ、是亦故ラニ此規定ニ依テ買收シテ貰フト云フ考ヲ起スベキ筋デナイト思フ、殊ニ此金額ハ百分ノ五迄、百萬圓ニ付テ五萬圓バカリノ間デ増シテ居ルト、斯ウ云フノデアリマスカラ、サウ大シタ金額デハナイ、左様ナ狀態デアリマスカラ、工藤君ノ御心配ノ如ク、鐵道ガ濫設サレルト云フヤウナコトハナイト信ジマス、若シ此規定ニ依テソナ考ヲ起シテ鐵道ヲ造ル、而シテ此規定ニ依テ買増金ヲ吳レラレルヤウナ鐵道ガ出來上ルト云フコトデアレバ、全ク其地方ニ對スル立派ナル鐵道ガ出來ルノデアリマスカラ、是コソ寧ロ望ムベキコトデアルノデアリマス、所謂山カン仕事トシテハドウシテモ此條項——此鐵道ノ方ノ買收ノ規定全體ニ付テ出來得ナイコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ダケ御答シテ置キマス

○工藤委員 事務簡捷ノ趣旨ニ依テ認可ヲ要スル場合ヲ削ッタモノハ相當アルヤウニ見ルノデアリマスガ、此鐵道ノ發着時間ノ變更ハ從來主務省ノ認可ヲ受ケテ居ッタノガ、今度之ヲ取ッタヤウデアリマス、私共ノ見ル所ニ依ルト、此私有鐵道デ時間發着ニ關スル監督權ハアルコトハアルデアリマセウケレドモ、認可權ヲ拋棄スルト云フコトハ、餘

程此地方民ニ對シテ不便ヲ來シハシナイカト云フ實例ニ出會ハシテ居ル、私有會社ハ言フ迄モナク個人ノ利益ヲ主トシテ考ヘテ居ルノデアルカラ、ドンナ會社デモ重役或ハ株主ハ社會國家ニ奉仕スル考デアッテモ、自分ノ利益ヲ減損シテ迄ヤル者ハ無イ、サウスルト云フト會社ノ利益本位ト云フ點カラ出來ルダケ利益ヲ多クシタイト云フコトカラ、會社ガ回轉數ヲ減ズル場合ガ澤山アルソレデ運轉ノ速度ナドハ固ヨリ大關係モアリマセウシ、度數ナドモ關係ガアリマセウガ、時間ト云フ關係モ餘程御考慮ヲ願ハナイト、線路ノ競争ナドガ起ッタ場合ニ非常ニ——單リ私設バカリデナシニ御參考迄ニ申上レバ、此八戸線ノ小中野ノ停車場存置ノ一件ニ伴ッテ起ッタ問題デアル、若シアノ線ハ元ノヤウナ工合ニ發着時間ヲ地方民ノ希望通りニシタマダ——乗客ガアル筈デアル、ケレドモ鐵道當局者ノ考ニ依テ發着時間ガ非常ニ不便ニ出來テ居ル、一面ニ於テハ八戸ヲ通ジテ八木ノ方ニ行ク線、一ツハ小中野デ止ル線デアリマスカラ、虐待サレルノモ當然デアリマスケレドモ、アノ停車場ノ存廢問題ニ付テ一ツノ問題ニナッタノハ乗客ノ問題デアル、乗客ト發着時ニ依テ五割デモ四割デモ大關係ガアルト云フ實例ハ現ニアルノデス、隨テ國有鐵道デスラ其様ナモノデアルカラ、私有鐵

道ニ關スルモノ、發着時間ナドモ監督官廳トシテハ餘程嚴重ニ御監督ヲ爲サラスト、地方民ハ非常ナ不便ヲ感ズルコトガアル、事務簡捷ノ上カラ出來得ルダケ簡易ニシテ貰フトハ、此私有鐵道ヲ保護スル上ニ於テ必要デアルケレドモ、斯ウ云フ事ハ非常ニ公安上或ハ運輸交通ノ便利ノ上ニ利害關係ガアルノデアアルカラ、此點ヲ殊更ニ事務簡捷トシテ除イタト云フコトノ重大ナ理由ガアレバ伺ヒマス

○志賀政府委員 大體工藤君ノ御尋ノ御趣意ニ基イテ是ハ實ハ變ヘタ譯ナノデアリマス、詰リ發着度數ノ認可ヲ受ケルコトニナリマス、簡便ニ發着ノ時間並度數等ニ付テノ變更ガ出來ナイ、ソレデ相當時間ヲ要スルト云フ結果ニナルノデアリマス、會社ガ之ヲ改メマス際ニハ地方民ノ實狀ニ應ズルヤウニ發着時刻度數等ヲ改メルコトガ出來ルノデアリマス、唯其爲ニ會社自身ノ利害ノ爲ニ地方ノ公益ヲ無視シテ、ドウシテモ自分達サヘ宜ケレバ地方ハドウデモ宜イト云フヤウニ發着時刻ヲ定メマシタ場合ニ於テハ、即チ此二十二條ノ第二項ノ規定ヲ改正致シマシテ、矢張發着時刻ハ監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ列車ノ發着時刻及度數ノ變更ヲ命スルコトヲ得「運轉速度、度數及發着時刻ノ變更ヲ命スルコトヲ得」ト斯ウ云フ規定ニナルノデアリマスガ、此發着時刻規定ハ此點

ニ於テ十分ニ監督ガ出來ルト信ジテ此規定ヲ改正致シタノデアッテ、却テ地方鐵道ノ公衆ノ利害ノ爲ニ發着時刻ノ認可ハ豫メ要シナイコトニシタ方ガ宜イト斯ウ云フ趣意デヤッタノデアリマス

○工藤委員 只今ノ御趣旨ハ能ク分リマシタ、サウスルト反面論理カラ行クト認可ヲ受ケシムルト云フコトハ洵ニ不便デ、認可ヲ要シマセヌコトガ却テ便利ダト云フ結論ニナル譯、結局若シ認可ヲ受ケシムルコトガ不便ダト云フコトハドウモ所謂御役所ノ方ノ責任デアッテ、地方鐵道ノ當局者ノ責任デハナイ、唯吾々一旦之ヲ定メルト云フト、監督權ガ發動スル迄ニハ相當時間ヲ要スルカラ、中々出來ルモノデハナイダラウト私ハ思フ、此發着時間ヲ決メルト云フコトハ、事前ニ用意スルノデアアルカラ、三十日ナリ一箇月前ニ當局者ニ向ッテ認可ヲ申請スルノデアアルカラ、事ヲ機敏ニ運ビタイト思ヘバ急速ニ認可ガ出來ル、故ニ是ハ御役所ノ方ノ責任デアッテ、地方鐵道營業者ノ責任デハナイ、ソレアルガ爲ニ地方鐵道當事者ニ之ヲ任セルト云フコトデアルト、利益ガアルト云フヨリモ、利益ヲ保護スル上ニ於テハ、監督廳ハ今言フ如キ認可ノ方法ニ依テ保護モ出來ル途ガアルガ、弊害ノ方ガ多クアリハシナイイカト云フコトヲ私共ハ心配シテ居ル、事務ノ簡捷ハ私共モ賛成スル所デアリマスケ

レドモ、斯ウ云フ點ガ寧ロ事務ノ簡捷ヲ圖ルヨリモ監督權ヲ保留シテ置ク方ガ宜イノデハナイカ、若シ是ガ爲ニ煩瑣ニ互ツテ非常ニ不便ガアリマスナラバ、其認可ノ手續ヲ極メテ簡單ナモノニシテモ之ヲ事前ニ監督シテ行クト云フコトハ必要デハナイカト云フコトヲ私ガ素人考デ一二ノ例ガ頭ニ浮ンダカラ御同致シタヤウナ次第デアリマス

○工藤委員 是ハ志賀政府委員モ知ツテ居リマセウガ、奥羽本線ノ弘前、青森線ノ弘前ノ方ニ寄ツタ所ニ川部ト云フ驛ガアリマス、此川部ヨリ五所川原ニ至ル私有鐵道ハ先年買収シナリマシタガ、私有時代ノアノ鐵道ノ時間ナドハ實際困ツタ、例ヘバ青森カラ新城ノ驛ヲ經テ大釋迦ニ至リ其大釋迦カラ自動車デ行クト一時間半位デ行ツテシマウ、所

ナラバ政府ガ買上ゲテ吳レルダラウト云フヤウナ風デ、鐵道ノ企業者程近頃慾張ツテ居ルモノハナイ、サウ云フヤウナコトデアアルカラ苟モ事業ヲヤツテ營利ヲ欲セザルモノハナイノデアアルケレドモ、公益ノ爲ノ機關デアリ、主トシテ鐵道ハ運輸ノ速カナルコト、時間ノ適正ナルコト、乘心地ノ好イト云フコトヲ原則トシテ鐵道ナドハ出來テ居ルノデアルカラ、時間ノ問題、發着問題ヲ地方鐵道ニ委セルト云フコトハ、將來恐ラ

ヲ與ヘテモ將來變更スルコトガ出來ルケレドモ、事前ニ於テ之ニ對スル用意ガナケレバ、公衆ニ不便ニナルト云フコトヲ恐ル、爲ニ申上ゲルノデアリマスガ、唯地方ノ便利ノ爲ノ鐵道ト思ヒナサルガ、サウ云フ公共心ノ多イ人モアルケレドモ、大部分ハ公共心ヲ以テ鐵道ナドヲヤツテ居ルモノハアリマセヌ、是ハ事實デアリマス、私ハ此點ニ現代ニ於ケル鐵道企業者界ノ狀態カラ見テ此心配ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス、之ニ付テ何カ御考ガアレバ伺ヒマス

○志賀政府委員 實際ノ實狀カラ言ヒマスルト、地方鐵道ハ實ハ地方民ノ要求ニ依テ發着時刻ヲ改正シタイガ、如何ニモ御説ノ如ク役所ノ方ノ都合ト云フコトモアリマセウガ、兎ニ角地方長官ノ手ヲ經由シテ鐵道省ニ廻ツテ來テ、

ヘテ五所川原ニ行クト三時間半位掛ル、此鐵道ハ先ニハ私有鐵道會社デアツテ主トシテ營利ヲ考ヘルカラ廻轉度數ヲ少クスル、又發着時間ナドモ餘リ一般公衆ノ便宜ト云フモノヲ念頭ニセズシテ唯仕事ノ終了時間トカ或ハ何カ會社ニ都合ノ好イヤウナ時間ヲ選擇シテヤツテ公益上ニ付テハ餘リ考ヘナイ、

上十分責任ガアルガ將來折々問題ガ起ツタ時分ニ、民衆ノ意見モ採用スルヤウニ御盡力アリタイ、サウデナケレバ却テイケナイ、今ノ所デハ政府ガ認可スルカラ仕方ガナイト云フコトニナルケレドモ、然ラザル限りハサウ云フコトモアリマスカラ、公益上必要ナル時ハ列車ノ發着時間ノ變更ヲ命ズルコトヲ得ト云フヤウナコトガアルケレドモ、今モ御話ノ府縣廳ヲ經由シテ本省

○喜安鐵道書記官 工藤サンノ只今ノ御意見ハ或ル程度迄私共全ク御同感デゴザイマスルガ、唯二十二條ノ一項ヲ改正シマスル趣意ハ一寸徹底シテ居ナイノデハナイカト思ハレマス、實ハ少シ細カイ話ニナリマスケレドモ、現在運轉時間ノ認可ト云フコトハ、發着時刻ヲ認可シテ居ルノデアツテ、譬ヘテ申シマスルト東京驛ヲ八時ニ出マシテ新橋ヘ八時五分ニ著イテ、八時六分ニ出

ナコトガ實例トシテハ多イ、地方鐵道業者カラ言ヒマス、成ベク地方ノ要求ニ應ズルニハ簡單ニヤルガ宜シイト云フヤウナ意見モ從來屢承ツテ居ッタノデアリマス、之ヲ萬々一ニモ弊害ガ有ル場合ニ於テハ公益上ノ理由デ變更ヲ命ジサヘスレバソレデ監督ハ十分行届クデハナイカト云フコトデ、從來ノ例ニ依テ見マスレバ其方ガ事務簡捷ノ宜シキヲ得タモノトシテ此ニ規定シタ次第デアリマス、實際ハ地方鐵道ト云フモノハ地方ノ人ノ言フ通りニヤツテ行カナケレバ成立タヌノデアリマス

勿論鐵道ガナイ時ヨリ宜イニハ違ヒナイガ、モウ少シ一割以上ノ配當ヲスル會社デアアルカラ、サウ云フ問題ニ付テモ考慮ヲスルデアラウト云フコトガ地方民間ニ屢問題ニナツタコトガアル、監督シテ居ル時代デスラアレナシカテラ、發着時刻ノ認可ヲ受ケナクテモ宜イト云フコトニナツタナラバ何ヲスルカ分ラヌト云フコトニナリマセウ、モ

二箇月ハ掛ル、行ツタ後ニ變更ヲ命ズルト云フコトハ、行政官廳ノ取扱トシテ事前ニ豫防シ得ル途ガアルノニ尙其途ヲ取ラズ一旦之ヲ行ツテカラ變更ヲ命ズルト云フコトハ、是ハ後ノ祭デナイカト思フカラ、私ハ此第二項ノ規定アルニ拘ラズ尙此點ニ付テハ現行法通りニシナイト不安ニ堪ヘナイ、一旦認可

テ品川ヘ八時十五分ニ著イテ十六分ニ出ル、サウ云フ時刻ノ認可ヲ一々スルコトニナリマス、所ガ其時刻ノ認可ト云フモノハ非常ニ回數ガ多クナレバ多クナル程大キナ紙ニ隨分詳シク大キナ表ニナツテ參リマシテ、而モソレヲ認可ヲ致シマシテ、譬ヘテ言ヒマスルト、或ル省線ノ鐵道ニ連絡シテ居ルヤウナ場合ニ、鐵道省ノ時刻ガ一寸變リマスル

行カナケレバ成立タヌノデアリマス

ウ今日鐵道ノ企業者ト云フモノハ營利第一主義デアアル譯ガナイ、鐵道ナラバ投資シテモ確實デアアル、將來困ツテ來タ

ニシナイト不安ニ堪ヘナイ、一旦認可

合ニ、鐵道省ノ時刻ガ一寸變リマスル

ト、ソレト接続ヲ圖リマス爲ニ、五分カ三分線上ゲナクテハナラヌ、或ハ線下ゲナクテハナラヌ、サウ云フ場合ヲ生ズルノデアリマス、其時ニモ前ニ認可ヲ受ケタ時刻ヲ變ヘタカラト云フテ、極ク輕易ナコトナルニモ拘ラズ、既認可ノ變更ト云フコトニナル、サウ云フコトハ餘リ實益ガナクテ却テ煩雜ナ手續ヲ要スルバカリダカラ、今度ハ發著時刻ノ認可ト云フコトデナシニ、速度トソレカラ度數、列車ノ回數ハ是ハ公衆ノ利便ヲ主トシテ標準トシタモノデアリマスシ、速度ノ方ハ主トシテ運轉ノ安全ト云フコトヲ眼目ニシテ考ヘラレ

ル問題デアリマス、其ニツノ點ヲドノ驛トドノ驛トノ間ハ何哩位ノ速度デ運轉シタイト云フ速度ノ認可ト、此區間ハ一日往復二十回トカ二十二回トカ云フコトノ認可ヲ致シマシテ、其範圍ニ於キマシテ鐵道會社ガ一番列車ヲ八時ニシヤウガ、七時半ニシヤウガ、其點ノ自由裁量ヲ會社ニ認メヤウ、其代リ實施致シマシタ結果非常ニ公益ヲ害スル、民衆ノ不便ヲ來スト云フヤウナ結果ヲ來シマスレバ、早速其變更ヲ命ズルト云フ途ヲ開ク、先程工藤サンノ御話ノ御趣意ヲ徹底シツ、事務簡捷ヲ圖ルト云フ積リデ立案ヲ致シタ改正案デゴザイマス

リマシタガ、大體鐵道ノ買收ノ規定ニ基イテヤツテ居ルヤウナモノデスガ、今度何カ之ニ付テ特殊ナ買收標準デモ定メルヤウナ御考ハナカッタノデスカ、是ハ今後相當出來テ來ルダラウ、方々ニ此企ガアルヤウデスカラ伺フノデス「第三條ニ左ノ一項ヲ加フ」トアリ、前項ノ軌間ノ制限ハ命令ヲ以テ定ムル特殊ノ地方鐵道ニ付テハ之ヲ適用セス」トアツテ、其説明ニアル「例ヘバ鋼索鐵道懸垂鐵道ノ如キ」ト云フ此鐵道デス、之ニ付テノ買收或ハ是ノ建設ニ付テノ規定デモアリマスカ、何カ準用スル法規デモアルノデスカ

業ヲ營ム場合ニ於テハ其兼業ニ屬スル資產ヲ併セテ買收スルコトヲ得」前項ノ場合ニ於テ買收價格ハ協定ニ依ル」ト云フコトニナツテ居リマス、先日御協賛ヲ戴キマシタル岩手輕便鐵道ノ附屬ノ索道ト云フノハ、此規定ニ依テ買收スルト云フコトニナルノデアリマス、此特殊ノ地方鐵道ト云フ意味ニ於テ買收スル譯デハナイノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○工藤委員 其點ハソレデ止メテ置キマス、今一ツハ此索道ノ買收方針デス、是ハ此間釜石ト花卷ノ索道ノ買收ガアリマス、今ノ御質問ハ鋼索鐵道或ハ懸垂鐵道ヲ買收スルニ付テノ特別ノ規定ガアルカト仰シヤルノデアリマスカ、是ハ矢張地方鐵道デアリマスカラ、此地方鐵道法ノ條文ニ依テ買フコトニナルノデアリマス、恐ラクハ政府ハ斯ウ云フ鐵道ヲ買フコトハナイダラウト思ヒマスケレドモ、若シ買フ場合ガアリマシタナラバ、今回改正サレマス地方鐵道法ノ買收規定ニ依テ買收スルノデアリマス

○細野鐵道書記官 只今ノ御質問ハ鋼索鐵道ト同様ナ標準、規定ニ依テ買收スルカドウカト云フ意味デス、只今三十四條ノ御引用ガアリマシタガ、是ハ兼業ト云フノモオカシイヤウデスガ、解釋ノ上カラスレバ同ジ地方鐵道デアル、地方鐵道ノ延長ト云フ意味ニナルノデアアルガ、此懸垂鐵道或ハ鋼索鐵道ト云フモノハ兼業トシテ取扱ツテ居ルノデアリマスカ

○工藤委員 私が先刻伺ッタノハ、詰リ鋼索鐵道、懸垂鐵道ハ特殊ノ鐵道トシテ掲ゲテアリマスカラ、斯ウ云フ特殊ノ鐵道ノ買收ハ普通ノ「レール」ヲ敷イテ居ル鐵道ト同様ナ標準、規定ニ依テ買收スルカドウカト云フ意味デス、只今三十四條ノ御引用ガアリマシタガ、是ハ兼業ト云フノモオカシイヤウデスガ、解釋ノ上カラスレバ同ジ地方鐵道デアル、地方鐵道ノ延長ト云フ意味ニナルノデアアルガ、此懸垂鐵道或ハ鋼索鐵道ト云フモノハ兼業トシテ取扱ツテ居ルノデアリマスカ

アルト云フヤウナ取扱ヲシテ居リマス、ソレカラ只今ノ索道ハ是ハ全然準據法規モ違ヒマスシ、ソレカラ又事業ノ根本觀念モ違フノデアリマスカラ、是ハ別ニ兼業トシテ取扱ツテ居リマス

○志賀政府委員 一寸其點ヲ補ツテ置キマス、今ノ改正案ノ理由ノ所ニ書イテアル鋼索鐵道懸垂鐵道モ所謂特殊ノ地方鐵道ト見テ居ル、隨テ之ヲ買收スル時ニハ、地方鐵道法ガ適用サレル譯デアリマス、此地方鐵道法ノ三十四條ニ「買收ヲ受クヘキ地方鐵道業者カ兼

業ヲ營ム場合ニ於テハ其兼業ニ屬スル資產ヲ併セテ買收スルコトヲ得」前項ノ場合ニ於テ買收價格ハ協定ニ依ル」ト云フコトニナツテ居リマス、先日御協賛ヲ戴キマシタル岩手輕便鐵道ノ附屬ノ索道ト云フノハ、此規定ニ依テ買收スルト云フコトニナルノデアリマス、此特殊ノ地方鐵道ト云フ意味ニ於テ買收スル譯デハナイノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○細野鐵道書記官 只今ノ御質問ニ對シテノ好イ例ハ箱根登山電氣鐵道株式會社デアリマス、箱根カラ強羅ニ至ル電車、ソレカラ強羅カラ山ノ上ニ登ル「ケーブルカー」是ハ兩方ヲ併セテ地方鐵道トシテ經營シテ居リマス、詰リ地方鐵道ナラバ鋼索鐵道ト普通ノ鐵道ト併セテヤツテ居ツテモ、鋼索鐵道ハ必シモ兼業デナイ、矢張地方鐵道ノ一部デ

○工藤委員 ソレハ丁度只今志賀政府委員ノ仰セラレタ例ノ釜石、花卷ノハ地方鐵道買收規定ニ基イテアレヲ買收スルノデスネ——ソレカラモウ一ツ伺ヒマスガ、今度ノ改正ニ於テ第八條ノ二項ヲ削ツテ、鐵道ノ附屬物件（主トシテ車輛）ノ貨渡又ハ讓渡ヲ自由ニスルト云フノデ、是モ事務簡捷ノ方カラ來テ居ルヤウデスガ、私共ハ出來得ル限リ地方鐵道ノ自由ヲ保障シテヤルト云フコトニ付テハ別段異存ハナイノデアリマス、ケレドモ地方ノ實際ノ狀況ヲ見ルト云フト、此車輛ノ貨渡讓渡ト云フコトハ、是ハ地方ノ交通ノ上ニ大關係ヲ持ツテ來ル、或ル時代ニ於テ自分ノ線路ニ荷物ガ多イ時分ニハ宜イデスケレドモ、荷物ノ少イ時分ニナツテ、其貨車ヲ勝手ニ他ニ讓渡シタリ、貨渡シタルシテ收入ヲ得テ居ル、ソレガ爲ニ或ル場合ニ於テハ貨車ノ缺乏ヲ來シテ地方民ガ大變不便ヲ感ジテ居ル例ガ澤山アリマス、サウ云フコトガアリマスルニ拘ラズ、事務簡捷ト云フコトデ之ヲ自由ニスルト云フコトニ付テハ、將來地方民ガ少ナカラザル不便ヲ感ジハシナイカ、殊ニ私有鐵道ニ對スルアナタ方ノ監督上ノ事柄ガ澤山アル中デ、此

車輛ニ關スル監督ト云フコトハ餘程ヤ
カマシイモノデアラウト思ヒマス、斯
ウ云フモノヲ會社ガ勝手ニ貸渡讓渡ト
云フヤウナコトヲ自分ノ懷口勘定ノミ
カラ考ヘタ時分ニハ、地方民ハ車輛ノ
缺乏ニ依テ少カラズ不便ヲ感ズルヤウ
ニ思ヒマスガ、是ハ一向差支ナイト云
フ重要ナル理由ガアツテ此處ニ至ッタノ
デアルカ、ドウカ之ヲ一ツ御説明ヲ願
ヒタイ

○細野鐵道書記官 車輛ト云フモノガ
鐵道輸送上可ナリ重大ナル使命ヲ持ッ
テ居ルト云フコトハ勿論デアリマス
ガ、重大ナル使命ヲ持ッテ居ルダケニ吾
吾ノ考トシテハ、鐵道會社ハ車輛ハ其
輸送ニ耐ヘルダケノ車輛ヲ用意シテ居
ルモノデアルト云フ大體ノ考ヲ持ッテ居
リマス、左様ナ車輛ヲ賣拂フト云フヤ
ウナコトハ、起業者トシテハ恐ラク想
像モ爲シ得ナイコトダラウト云フ考ヲ
以テ、之ヲ認可ヲ要シナイト云フコト
ニシタノデアリマス、サウシテ尙是ハ
認可ハ要リマセヌケレドモ、貸渡讓渡
シタ場合ニハ、必ズ之ヲ監督官廳ニ報
告スルト云フコトニナツテ居リマスガ
ラ、其點デモ取締ルコトガ出來マスシ、
又一方運轉回數、サウ云フコトヲ常ニ
監督シテ居リマスカラ、若シ車輛ガ少
クナツテ運轉回數ガ減ルト云フヤウナ
コトガアリマスレバ、其方面カラモ別
ニ監督ガ出來ルト云フ譯デアリマスガ
ラ、讓渡貸渡ハ必シモ認可事項ニシナ

クトモ監督ガ出來ナイト云フモノデハ
ナイ、他ニモ尙監督ノ方法ガアルノデ
アルカラ、之ヲ認可事項ニシテ置ク必
要ハナイダラウ、寧ろ事務簡捷ノ主旨
カラ、之ヲ削ッタ方ガ宜カラウト云フノ
デ今回之ヲ改メタ次第デアリマス

○工藤委員 此問題モ實際問題トシテ
ハ必ズ他日民間カラ問題ガ起ラウトハ
思ヒマスガ監督上ニ於テ責任ノアル方
ガ其處迄ノ御考デアリマスナラバ、マ
ア交通上不便ヲ來スコトモナイデアリ
マセウ、先刻御話ノ中ニ、會社ガ必要ナ
モノナラソレダケハ買ッテ居ルニ違ヒ
ナイト言ハレマスケレドモ、必要ナモ
ノヲ買ッテ居ルノデアルカラ、貸渡シタ
リ賣渡シタリスル餘地モナイト見ナケ
レバナリマセヌ、兎ニ角車輛ノ配置或
ハ準備等ハ地方ノ運輸業者ノ間ニハ非
常ニ問題ニナルノデアルカラ、之ヲ大
切ニ規定シテアツタモノト思ヒマスケ
レドモ、事務簡捷ト云フ趣意カラ之ヲ
自由ニスルト云フコトデアアル、私ハ其
結果ハ甚ダ面白クナイト思ヒマスケレ
ドモ、責任ヲ以テオヤリニナルト云フ
コトナラバ、ソレデモ宜シウゴザイマ
ス、軌道法ニ付テハマダ意見ガアリマ
ス、大體此立法ノ主旨内容ハ鐵道法ト
略同ジャウデアアルカラ、省略致シ他
ノ委員ノ方カラノ質問モアリマセウカ
ラ、此改正條文ニ付テノ私ノ質問ハ是
デ終ルコトニ致シマス、而シテ昨日小
川鐵道大臣が見エテ、鐵道國策ニ關ス

ル私ノ平生抱イテ居ル考ト、鐵道大臣
ノ考ヘテ居ラレル意見ヲ攻究シテ、サ
ウシテ此帝國ノ鐵道政策ニ對シテ一ノ
考ヲ定メヤウト云フコトデアッタガ、今
日ハ大臣ハ見エマセヌガ、政務次官モ
其他ノ方モ見エテ居リマスカラ、私ノ
大臣ニ聞カント欲スル點ヲ豫メ申上ゲ
テ置イテ、他日ノ機會ニ伺ヒタイと思
ヒマス、ソレハ運賃ニ關スル問題、ソレ
カラ地方鐵道許可ノ方針ニ關スル問
題、ソレカラ軌道ト、鐵道ト道路トノ關
係、ソレカラ私設會社モ相當殖エテ來ル
ヤウデアリマスカラ、補助金ニ付テ、或
ハ増ストカ減ラストカ云フコトニ付テ
相當ノ標準ナドモ考ヘテ見ナケレバナ
ラヌト思ヒマスシ、殊ニ又將來ノ鐵道財
政ニ關スル問題モ、此國有鐵道ノ目的
ヲ徹底スル上ニ於テ非常ニ關係ヲ持ッ
テ居リマスカラ、成ベク鐵道ニ關スル
法案審議ノ際適當ノ機會ニ此重要ナル
點ニ付テ、大臣及政務次官其他ノ方ノ
御揃ヒノ席上デ伺ヒタイと思ヒマス、
サウシテ私ハ是デ一先ヅ打切りマス

○若宮委員長 モウ十二時ニ六分前デ
アリマスガ、若シ簡單ナル御質問ガアリ
マスナラ此際願ヒマスシ長クナルヤウ
ナラ是デ散會シタイと思ヒマスガ、如
何デスカ
○田中委員 工藤君ノ質問ニ對スル買
收價格ノコトニ付テ、非常ニ損失ノア
ルモノ、ヤレバヤル程損ヲシテ行クト
云フヤウナモノハドウスルカト云フ

ト、建設費ヨリモ少イ費用デ買收スル
コトガ事實アルト云フ意味ノ御答辯ガ
アリマシタガ、此規定ヨリ言ヘバ、サウ
云フコトハ出來ナイデハナイカ、例ヘ
バ工事中ノ場合トカ或ハ現ニ運轉シテ
居ル場合デモ出來ナイ、實際ノ設備ヲ
標準ニ置イテ買收スルト云フコトガ此
法ノ根本ヂヤナイノデスカ

○喜安鐵道書記官 先程私ノ申上ゲマ
シタ點ハ改正案ノ三十一條第一項第二
號ニ規定ガアリマス、買收ノ日ニ於ケ
ル開業線建設費ヲ時價ニ依リテ國債券
面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協
定シタル金額、是ハマダ運轉開始後三
年ヲ經テ居ナイモノ、ソレカラ同條第
二項ニ「前項第一號ノ規定ニ依ル金額
カ」是ハ既ニ三年以上經ッテ居ル線路ヲ
含ンデ居ル場合デアリマス、其金額ガ
買收ノ場合ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依
テ國債券面金額ニ換算シタル金額ニ達
セザル時ハ其換算シタル金額、以內ニ
於テ協定シタル金額私ガ先程申上ゲマ
シタノハ此協定ト云フコトデアリマス
シ、其金額ヲ最高限度トシテ、政府ト買
收サレル鐵道會社トガ相談ヲシ合ッテ、
相談ノ纏マッタ金額デ買收スルノデア
ル、ダカラ建設費以內ニ於テ買收スル
場合ガ理論上アリ得ル、斯ウ申上ゲタ
積リデアリマス
○田中委員 例ヘバ斯ウ云フ場合、大
正七八年頃、一般ノ物價ガ騰貴シテ居ッ
タ時分ニ出來タモノハ實際百萬圓掛ッ

タ、所ガ今日ニ於テハ半分ニナツテ五十萬圓位デソレト同ジ鐵道ガ出來ル、而モ其會社ハ毎年缺損ヲシテ今日利益ガナイ、斯ウ云フ鐵道ヲ買收スルニハドウ云フ標準ニ依テヤリマスカ

○喜安鐵道書記官 今仰セノ例ニ依リマス、鐵道ノ會計ト云フモノハ普通ノ場合ト少シ違ッテ居リマシテ、例ヘテ申シマスルト百萬圓掛ケテ建設致シマシタ鐵道ガ、物價ノ變動等ニ依テ、今日

新ニ同ジモノヲ造ッテモ八十萬圓デ出來ル、斯ウ云フヤウナ經濟界ニ變動ヲ生ジマシテモ、其建設費ヲ八十萬圓ニ落サナケレバナラヌト云フ風ノ規則ニハナツテ居ナイノデアリマス、百萬圓掛ツタモノハ矢張資産トシテソレダケ計上シテ置イテモ差支ナイト云フコトニ

ナツテ居リマス、ソレハ申ス迄モナク鐵道ハ始終使ッテ居ルノデアリマスカラ、運轉ニ耐ヘ、營業ニ耐ヘ得ル狀態ニ、修繕ヲ加ヘテ適當ノ狀態ニ保タセナケレバナラヌ、適當ノ狀態ニ保ッテ居リマス以上ハ、所謂實費決算額——會計ノ專

門家ハサウ申シテ居ルサウデアリマスカ、其實費決算額ヲ資産トシテ掲グルコトヲ認メテ居リマス、是ハ獨リ鐵道會社ニ限リマセズ帝國鐵道會計法ニ於キマシテモ同ジデ、國有鐵道ノ會計ニ

於キマシテモ、資産ノ決算ハサウ云フコトヲ認メテ居ルノデアリマス、鐵道會計ニ於キマシテ建設費、改良費、詰リ資本勘定ニ支出シタ額ハ、其支出シタ額

ガ資産ニナツテ居ル、デアリマスカラ非常ニ高イ「レール」ヲ買ッテ敷設シタモノデ今日「レール」ガ下ッテ居リマシテモ、此高イ「レール」ノ値段デ資産價格ガ附ケテアル譯デアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ今仰ッシャッタ例ノ場合ニ於キマシテモ、若シ百萬圓ガ其儘建設費トシテ殘ッテ居リマス以上ハ、其建設費ガ地方鐵道法ノ所謂建設費ニ當ルノデアリマス

○田中委員 サウシマス結局百萬圓デ買フト云フコトニナルデアリマセヌカ、現在ハ五十萬圓カ八十萬圓ノ價格ノモノデアッテモ、此鐵道法ニ依レバ結局政府ハ百萬圓デ買ハナケレバナラヌ、併ナガラ公債ヲ交付スル場合ニハ、公債ヲ時價ニ換算シテ、ソレヲドウスルカト云フコトヲ協定スル、斯ウ云フ

風ナ趣旨デハアリマセヌカ
○喜安鐵道書記官 サウ云フ意味デハアリマセヌ、少シ文句ガ惡クテ分リ難イト思ヒマスガ、今ノ例デ申シマス、百萬圓ヲ公債ノ時價、例ヘバソレガ九十圓ト致シマス、百十萬圓餘リデアリマスカ其額ヲ限度トシテ、其範圍内ニ於テ協定シタル金額、斯ウ云フ意味ナノデゴザイマス

○田中委員 結局現金ヲ交付スルナラバ、實際ハ五十萬圓シカ價值ノナイモノヲ買收スル場合ニハ、矢張現金デスレバ百萬圓ナルノダ、ソレヲ交付公債デヤルカラ九十圓ノモノヲ百十萬圓出

スト云フコトニナルデアリマセヌカ
○志賀政府委員 詰リ百萬圓ト云フ金額以内ニ於テ協定スルノデアリマスカラ、今田中君ノ御話ノヤウニ、現在五十萬圓ノ値打シカナイ、其五十萬圓モ建設費ト大變違ッテ居ルト云フコトニナレバ、其間ニ八十五萬圓ヲ協定ニナルカ、八十萬圓デ協定ニナルカ、兎ニ角協定シタ其金額ヲ百萬圓以内ニ於テ定ムルト云フコトニナルデアリマス

○田中委員 志賀參與官ハ法律家デアリマスガ、今ノ御話デハ如何ニモオカシク思ヒマス、チャント法律ニハ買收ノ日ニ於ケル建設費ト明記シテアルノデゴザイマス、ソコデ私ハ先程喜安書記官ニ御尋シタノデアリマスガ、建設費ト云フモノハ百萬圓云々ト云フコトニナツテ居ッテ、後ノ事ハ時價ニ依リ公債面デノ相談ダケハスルコトニナツテ居ル、其處ハ大變法律ノ主旨ガ違フ、若シモ志賀參與官ノ御意見ノヤウナ意味デ買收ガ出來ルトナレバ、條文ヲ變更シナケレバナラヌ、大變意味ガ相違致シマス、此條文ノ解釋カラ行ケバ、百萬圓ト云フモノハ基本デ動カヌ、大變ナ相違デアリマス、若シサウナラバサウ云フ風ナ條文ヲ修正ヲ私ノ方カラ提出致シマスカラ、モウ一應御説明ヲ願ヒマス

○志賀政府委員 是ハサウデハナイ、例ヘバ建設費ガ百萬圓デアレバ今申シタ通り公債ノ價格ガ九十圓ナラバ九十圓、九十三圓ナラバ九十三圓デ、ソレデ公債ガ百十何萬圓ニナリマスカ、百十三萬圓以内ニ於テ協定スルコトニナツテ居ル、百十三萬圓ノ公債ノ以内ニ於キマシテ協定スルコトニナル、其協定ガ七十萬圓ニナルカ八十萬圓ニナルカ分ラナイ、サウ云フ立法ノ趣旨デアリマス、今迄ハサウ云フ趣旨デヤッテ來タノデアリマス

○田中委員 サウスルトモウ一應伺ヒマスガ、要スルニ買收ヲスル價格ハ考課狀ニ載ッテ居ル建設費ヲ標準ニシテト云フコトニ承ッテ宜シイノデアリマスカ
○志賀政府委員 從來ノ例ハ建設費ダケデ買フトコトニナツテ居ッタガ、ソレデハイカスト云フノデ、ソレデ之ヲ改メヤウト云フノデアリマスカラ、實際ハ協定スルコトニナル、協定スル金ガ基本ニナル、建設費ガ基本ニナルノデハナイ、建設費ハ唯「公債券面額ニ換算シタル金額」ト云フコトノ意味ニ於テ、建設費ト云フモノヲ見積ッテ、此以内ニ於テ協定スル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○田中委員 サウスルト斯ウ云フ風ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ、買收スル時ニハ結局ハ時價ニ依テ買收スル、斯ウ云フヤウナ意味ニ考ヘテ宜イデセウカ、例ヘバ百萬圓ノ會社ヲ實際ハ今五十萬圓シカ時價ニ見積ッテ見レバナ

イ、志賀參與官ノ御説明ニ依レバ、サウ

○田中委員 是ハサウデハナイ、例ヘバ建設費ガ百萬圓デアレバ今申シタ通り公債ノ價格ガ九十圓ナラバ九十圓、九十三圓ナラバ九十三圓デ、ソレデ公債ガ百十何萬圓ニナリマスカ、百十三萬圓以内ニ於テ協定スルコトニナツテ居ル、百十三萬圓ノ公債ノ以内ニ於キマシテ協定スルコトニナル、其協定ガ七十萬圓ニナルカ八十萬圓ニナルカ分ラナイ、サウ云フ立法ノ趣旨デアリマス、今迄ハサウ云フ趣旨デヤッテ來タノデアリマス

○田中委員 サウスルトモウ一應伺ヒマスガ、要スルニ買收ヲスル價格ハ考課狀ニ載ッテ居ル建設費ヲ標準ニシテト云フコトニ承ッテ宜シイノデアリマスカ
○志賀政府委員 從來ノ例ハ建設費ダケデ買フトコトニナツテ居ッタガ、ソレデハイカスト云フノデ、ソレデ之ヲ改メヤウト云フノデアリマスカラ、實際ハ協定スルコトニナル、協定スル金ガ基本ニナル、建設費ガ基本ニナルノデハナイ、建設費ハ唯「公債券面額ニ換算シタル金額」ト云フコトノ意味ニ於テ、建設費ト云フモノヲ見積ッテ、此以内ニ於テ協定スル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○田中委員 サウスルト斯ウ云フ風ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ、買收スル時ニハ結局ハ時價ニ依テ買收スル、斯ウ云フヤウナ意味ニ考ヘテ宜イデセウカ、例ヘバ百萬圓ノ會社ヲ實際ハ今五十萬圓シカ時價ニ見積ッテ見レバナ

イ、志賀參與官ノ御説明ニ依レバ、サウ

○田中委員 是ハサウデハナイ、例ヘバ建設費ガ百萬圓デアレバ今申シタ通り公債ノ價格ガ九十圓ナラバ九十圓、九十三圓ナラバ九十三圓デ、ソレデ公債ガ百十何萬圓ニナリマスカ、百十三萬圓以内ニ於テ協定スルコトニナツテ居ル、百十三萬圓ノ公債ノ以内ニ於キマシテ協定スルコトニナル、其協定ガ七十萬圓ニナルカ八十萬圓ニナルカ分ラナイ、サウ云フ立法ノ趣旨デアリマス、今迄ハサウ云フ趣旨デヤッテ來タノデアリマス

○志賀政府委員 是ハサウデハナイ、例ヘバ建設費ガ百萬圓デアレバ今申シタ通り公債ノ價格ガ九十圓ナラバ九十圓、九十三圓ナラバ九十三圓デ、ソレデ公債ガ百十何萬圓ニナリマスカ、百十三萬圓以内ニ於テ協定スルコトニナツテ居ル、百十三萬圓ノ公債ノ以内ニ於キマシテ協定スルコトニナル、其協定ガ七十萬圓ニナルカ八十萬圓ニナルカ分ラナイ、サウ云フ立法ノ趣旨デアリマス、今迄ハサウ云フ趣旨デヤッテ來タノデアリマス

○志賀政府委員 是ハサウデハナイ、例ヘバ建設費ガ百萬圓デアレバ今申シタ通り公債ノ價格ガ九十圓ナラバ九十圓、九十三圓ナラバ九十三圓デ、ソレデ公債ガ百十何萬圓ニナリマスカ、百十三萬圓以内ニ於テ協定スルコトニナツテ居ル、百十三萬圓ノ公債ノ以内ニ於キマシテ協定スルコトニナル、其協定ガ七十萬圓ニナルカ八十萬圓ニナルカ分ラナイ、サウ云フ立法ノ趣旨デアリマス、今迄ハサウ云フ趣旨デヤッテ來タノデアリマス

○志賀政府委員 是ハサウデハナイ、例ヘバ建設費ガ百萬圓デアレバ今申シタ通り公債ノ價格ガ九十圓ナラバ九十圓、九十三圓ナラバ九十三圓デ、ソレデ公債ガ百十何萬圓ニナリマスカ、百十三萬圓以内ニ於テ協定スルコトニナツテ居ル、百十三萬圓ノ公債ノ以内ニ於キマシテ協定スルコトニナル、其協定ガ七十萬圓ニナルカ八十萬圓ニナルカ分ラナイ、サウ云フ立法ノ趣旨デアリマス、今迄ハサウ云フ趣旨デヤッテ來タノデアリマス

○志賀政府委員 是ハサウデハナイ、例ヘバ建設費ガ百萬圓デアレバ今申シタ通り公債ノ價格ガ九十圓ナラバ九十圓、九十三圓ナラバ九十三圓デ、ソレデ公債ガ百十何萬圓ニナリマスカ、百十三萬圓以内ニ於テ協定スルコトニナツテ居ル、百十三萬圓ノ公債ノ以内ニ於キマシテ協定スルコトニナル、其協定ガ七十萬圓ニナルカ八十萬圓ニナルカ分ラナイ、サウ云フ立法ノ趣旨デアリマス、今迄ハサウ云フ趣旨デヤッテ來タノデアリマス

云フ場合ニハ七十萬圓デ買フコトモアルシ、八十萬圓デ買フコトモアル、斯ウ云フ風ナ御説明デアルカラ、歸着スル所ハ時價ニ依テ買フ、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○志賀政府委員 サウ云フ意味デヤナイ、詰リ公債ノ百萬圓ノ高ノ以內ニ於テ協定シテ決メルト云フノデアル、或ハ百萬圓ニ決メルカモ知レヌ、或ハ九百萬圓ニ決メルカモ知レヌ、又鐵道會社ガ損デ困ルカラ六十萬圓デモ宜イカラ買ッテ吳レト言ヘバ、六十萬圓デ決メルカモ知レヌ、百萬圓以內ニ於テ協定スル其金額ガ標準ニナル譯デアリマス

○田中委員 大體ソレデ分ッテ來マシタ、サウスルト最高ノ買收價格ハ建設費ト云フモノヲ標準ニシテ其以內ニ於テ例ヘバ時價ガ建設費ヨリモ安イモノハ其時價ニ依テ買收スル、サウ云フ風ナ意味ニ志賀君ノ答辯ハ聞エマシタ

○喜安鐵道書記官 今志賀參與官ノ御話ニナリマシタ通リト私共思ッテ居リマスガ、詰リ今田中君ノ御話ハ百萬圓掛ケタモノガ今日五十萬圓ノ相場シカナイ、五十萬圓ノ相場シカナイト云フ、サウ云フ前提カラ出發シテ居リマスカラ、何ダカ七十五萬圓デ買フト云フトオカシク聞エルケレドモ、私ガ先程申上デマシタヤウニ、百萬圓掛ケタモノデ今日造レバ五十萬圓ノ値打シカナイ、五十萬圓掛ケレバ今日同ジャウナモノガ出來ルト云フヤウナ状態ニアリマシ

テモ、鐵道ノ會計デハ其時ノ相場ニ依テ資産ヲ動カスト云フ方法ヲ執ッテ居リマセヌ、是ハ單リ日本バカリデナシニ外國デモ皆サウ云フ例ダサウデゴザイマシテ、餘リ見積ッタ資産ヲ動カスト云フコトハシナイ、例ヘバ國有鐵道ナドデ新橋邊ノ地面ヲ明治四年カ五年頃ニ買ヒマシタ其時ハ坪一圓カ一圓五十錢デアラウト思ヒマスガ、サウ云フ値デ買ヒマシタ其土地代モ、今日デモ矢張一圓デ遣ッテ居ル、其代リ「レール」ガ少シチビタカラト云ッテ「レール」代ヲ引下ゲル、償却スルト云フコトハシナイ、サウシタヤウナモノデアリマスカラ、百萬圓掛ケマシテモ、五十萬圓ニ下ツタカラト云ッテ、五十萬圓ノ値打シカナイトハ、通常見ラレナイ、ソレデ百萬圓ト云フ建設費ガアリマスレバ、先程志賀參與官ノ言ハレマシタノハ、百萬圓ヲ限度トスルト云フ意味デナシニ、百萬圓ヲ公債ノ時價ニ換算シテ百十萬圓餘ノ額ガ出ル、其額ヲ最高限トシテ政府ト會社トガ協定シテ買收價格ハ決メルノダガ、無限ノ自由ガアルノデナシニ、最高限ガ決メラレテ居ル、其最高限ハ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ公債ノ時價ニ依テ換算シタ額ガ最高限デアアル、其以內デ決メルノデアル、極端ナ事ヲ言ヘバ、以內デアアルカラ十分ノ一位ニナリ得ルコトモ理論上ハアリ得ルノデス、サウ云フ意味ナノデゴザリマス

○志賀政府委員 先日カラ問題ニナッ

テ居ルノデスガ、此文字ガ「時價ニ依リ」ト書イテアルカラ變ニナルノデスガ、此「時價ニ依リ」ト云フノハ國債ノ事ヲ言フ、國債ヲ時價ニ換算シテト云フ意味ニナルノデアリマスカラ、其通リニ御承知ヲ願ヒマス、唯文句ガドウモ間違易イヤウデアリマスガ、國債ノ時價ダト云フ意味ニ御承知ヲ願ヒマス

○田中委員 私ハ只今ノ喜安書記官ト志賀政府委員トノ間ニドウモ意見ガ多少異ルヤウナ風ニ聽取リマスカラシテ次回ノ機會ニモウ一應質問致シタイト思ヒマス

○志賀政府委員 些トモ違ッテ居ラヌノデス、即チ建設費ヲ最高限度トシテ其以內デ決メル、サウシテソレハ國債ヲ時價デ換算シタ金額デ決メル、斯ウ云フコトニナルノデ、其最高限度以內ニ於テ決メルノデアリマスカラ、些トモ違ッテ居ラヌト思ヒマス

○若宮委員長 是ニテ散會致シマス、明日ハ午前後ヲ通ジテ開會致シタイト思ヒマスノデ、質疑ノ御有リノ方ハ是非共御出席ヲ煩シタイト思ヒマス

午後零時十一分散會

衆議院鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄第十三回中正誤

頁	段	行	誤	正
四	一	二六	出マ	出マス

昭和四年三月七日印刷

昭和四年三月八日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社